

第2章 霧島市を取り巻くスポーツ振興の方向性

1 スポーツを取り巻く環境変化

近年、情報化社会の進展や生活の利便性向上など、市民の生活様式が大きく変化し、市民の身体活動が減少するとともに、精神的なストレスが増大するなど、健康に大きな影響が生じています。

また、進行する少子・高齢化、平均寿命の延伸や余暇時間の増大や生活意識が多様化する時代においては、社会や経済面の影響だけでなく、個人の生き方にも大きな課題を投げかけ、一人ひとりの市民が自分の健康は自らが守る努力が必要になっています。

余暇時間、自由時間の拡大は、市民の意識や価値観が仕事中心から生活重視へと変化し、精神的な豊かさを求める傾向が高まる中で、健康づくりや生きがいつくり、仲間づくりなどスポーツに対するニーズも多様化してきています。

また、学校週5日制の実施により自由時間が増大し、子どもたちのスポーツ参加の受け皿として、地域スポーツの果たす役割がますます重要になってきています。

さらに、市民のスポーツ活動は、行政や各スポーツ団体が進めるスポーツ活動以外に、一人ひとりが自分の努力により健康・体力を維持しようという意識が高まっており、多種多様な広がりを見せています。

2 国・県の動向と霧島市のスポーツ振興の方向性

●国のスポーツ振興に関する動き

○平成12年 スポーツ振興基本計画策定（文部省：現文部科学省）

- ・目標：成人の週1回以上のスポーツ実施率50%以上

○平成22年 スポーツ立国戦略策定（文部科学省）

- ・人（する人・観る人・支える人）の重視
- ・連携、協働の推進

○平成23年 スポーツ基本法の制定

○平成24年 スポーツ基本計画の策定

●鹿児島県のスポーツ振興に関する動き

○平成13年 健やかスポーツ100日運動

- ・目標：成人の週1回以上のスポーツ実施率50%以上

- 平成 13 年 第 1 期競技力向上 5 か年計画
- 平成 18 年 第 2 期競技力向上 5 か年計画
- 平成 23 年 スポーツ振興かごしま基本方針
- 平成 24 年 第 3 期競技力向上 8 か年計画

●スポーツ振興の方向性

現在の高齢化社会の中で、自由時間の増大、生活重視への意識変化などを反映し、豊かなライフスタイルを構築したいというニーズがあります。一方で、生活レベルの高度化、情報化等の進展により、利便性が向上する傍ら生活の中で体を動かす機会が減少し、体力、運動能力の低下が指摘されています。

今日、スポーツの果たす意義・役割は極めて重要であります。市民のニーズや期待に適切に応え、市民一人ひとりがスポーツ活動を継続的に実践できるような、また、競技力の向上につながるようなスポーツ環境づくりが、今後ますます重要になってきています。

スポーツの振興にあたっては、する・観る・支えるそれぞれの観点から、互いの理解と連携を図り、市民のスポーツ活動を充実させていくことが求められています。

気軽にスポーツを楽しめる環境の整備、子どもたちの体力の改善、学校卒業後のスポーツ離れの改善などに、一層取り組んでいく必要があります。

こうした状況の中、市民のニーズや期待に応え、地域に即した生涯スポーツ社会の実現のため、市民自らが活動することが必要であるとの意識改革を図りながら、普及啓発、推進事業・支援体制・活動の場の充実等、総合的なスポーツ環境整備が必要になっていきます。